



キャリアアップMOT (CUMOT) エグゼクティブMOT集中セミナー 受講生募集のご案内

東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科

「未来を拓くイノベーションマネジメント」

※イノベーションマネジメント研究科は平成28年4月より大学の改組に伴い組織変更いたします

セミナーの目的と特徴

目的

企業経営者(CEOやCTO)や技術企画担当幹部の方々に、国際的に著名なMOT教育の第一人者であるヒューゴ・チルキー氏(スイス連邦工科大学教授)から、企業の未来を拓くイノベーション創出のマネジメント(技術経営:MOT)を短期間で集中的に学んでいただくセミナーです。



特徴

- ① 経営者・企業幹部の方々に、短期集中で「実践的で本格的なMOT」について学ぶ機会を提供します。
- ② 新世代MOT(イノベーション・アーキテクチャー)は、イノベーションを目指す経営者・企業スタッフの必須の手法です。
- ③ チルキー教授は北陸先端大等でのMOT教育に長年携わっており、わかりやすい英語で説明、テキストは日本語併記です。グループ活動は日本語で行います。日本語による要点の解説、Q&Aを行います。
- ④ 参加型学習として、「新世代 MOT」の手法をグループワークで実体験したり、企業を訪問します。
- ⑤ 講義でのディスカッションやQ&Aでは、日本人教員による充実した体制で活発な議論をファシリテートします。

教授陣

講師

ヒューゴ・チルキー スイス連邦工科大学教授

1971-76年 Carl Zeiss(スイス)のCEO、1976-82年 Cerberus のCEO。1982年からスイス連邦工科大学の経営学、技術&イノベーションマネジメントの教授。1992年に東工大、2000年にMITで、サバティカルの研究・教育に従事。スイス連邦工科大学にて大学院および社会人を対象としたマネジメント教育の責任者も歴任。

著書:「科学経営のための実践的MOT」(日経BP社、2005)、「イノベーション・アーキテクチャー」(同友館、2009)

セミナー支援・要点解説

出川通

株式会社テクノ・インテグレーション代表取締役、島根大学・香川大学客員教授。

著書「実践ロードマップ入門」(言視舎、2015)、「実践図解MOTマーケティング入門」(秀和システム、2013)、「新事業とイノベーションにおける知財の活かし方」(発明協会、2011)ほか多数。

田辺孝二

東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授



セミナー支援 出川通

スケジュール

月日	時間	内容
6/16 (木)	11:00~12:30	講義1:MOTとは何か、イノベーションとは何か
	13:30~15:00	講義2:技術は経営の基本要素
	15:15~16:45	講義3:新世代MOTとは 新世代MOTの実践的応用(1)
	17:00~18:15	講義4:新世代MOTの実践的応用(2)
	18:15~19:45	交流会(自己紹介など)
	20:00~21:30	懇親会(任意参加)
6/17 (金)	8:30~12:00	企業訪問 ヤマト運輸株式会社
	14:00~14:30	要点解説とQ&A
	14:30~16:00	講義5:イノベーションアーキテクチャー
6/18 (土)	16:15~17:30	講義6:戦略的モルフォロジー、ロードマップ
	9:30~10:00	要点解説とQ&A
	10:00~11:30	講義7:ビジネスモデル 講義8:新世代MOTの実践的応用(3)
	11:30~17:00	グループワーク
6/19 (日)	9:30~10:00	要点解説とQ&A
	10:00~11:00	グループ発表、討議
	11:15~12:45	講義9:新世代MOTの実践的応用(4)
	13:45~15:15	講義10:新世代MOTの実践的応用(5)
	15:30~16:30	講義11:新世代MOTの実践的応用(6)
	16:30~17:30	要点解説とQ&A、最終討議

※グループワークの時間は、各グループで適宜、休憩を取ります。

このような方に受講をお勧めします

受講者の例

本セミナーには、次のような方が参加されています。週末を利用した集中セミナーのため、関東圏以外の方も多数、ご参加いただいております(平成22~27年度実績)。

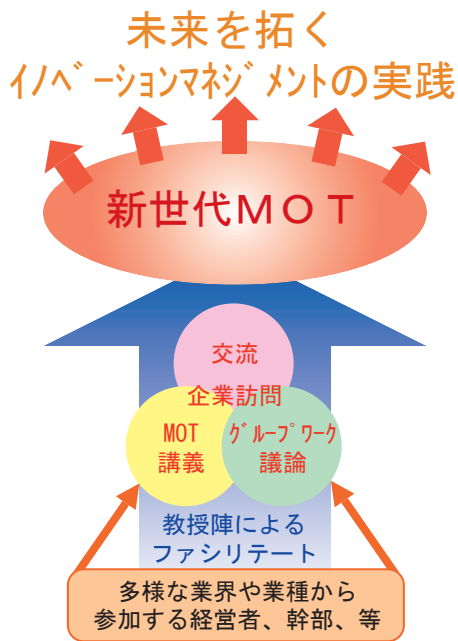
(所属先)宇部興産、イーザイ、荏原製作所、王子製紙、キヤノン、グリコ乳業、資生堂、JSR、JX日鉱日石エネルギー、新日鉄住金エンジニアリング、スズキ、住商アビーム自動車総合研究所、住友金属鉱山、住友電気工業、TDK、DIC、デンソー、東芝、東京ガス、日揮触媒化成、日新イオン機器、日東電工、日本電気、日本ゼオン、野村総合研究所、日立公共システム、日立製作所、日立ハイテクノロジーズ、富士ゼロックス、古川電工、本田技研、マツダ、三菱電機、ブリヂストン、三井造船、横河電機、リケン、リコー、ヤマハなど(職務等)社長、副社長、取締役、研究所長、技術開発部長、マーケティング部長、開発室長、開発戦略部主席研究員など

受講生の評価 (5段階評価 平成25~27年度平均)

授業の総合的な満足度はどのくらいですか 平均 4.1
今後自分の業務に役立つと考えますか 平均 4.1
・チルキー先生の講義を聞いて、はじめてわかることも多く大変勉強になった。
・大変面白い試みで参考になりました。チルキー先生の日本に関する造詣の深さに感銘しました。
・概念論だけでなく、具体論まで踏み込んで教えていただけたことで、企業現場での実践につなげることができると思いました。
・優れたメンバーと議論することができたことは非常に刺激的でした。まず自分たちを知ることで、向かうべき方向を決めること、それがイノベーションであること、そのギャップを知り、埋めるべく手段を選択すること、とても印象的で、勉強になりました。
・ロジスティックセンターの訪問は、先進的な取り組みやイノベーションに対する仕組みを知ることができ、大変有意義だったと思います。

エグゼクティブMOT集中セミナー

学習形態と学習内容



学習形態

多様な業界や業種から参加する経営者・企業幹部などが、MOT教育の第一人者から“新世代MOT”を学び、教授陣が活発な学習と議論をファシリテートします。

これらの学習プロセスを通じて、“未来を拓くイノベーションマネジメント”の実践を目指します。

※講義は英語が中心、テキストは日本語併記、要点解説は日本語で行います。



要点解説の様子

学習内容

- ① “技術とイノベーションのマネジメント” (MOT) の概念
- ② 企業においてイノベーションを推進する仕組みの解説と事例紹介
- ③ イノベーションを実践する企業訪問

※ヤマト運輸株式会社 (YAMATO TRANSPORT CO., LTD.) を予定

- ④ 新世代MOT の手法

- ・Innovation Architecture
- ・Innovation Strategy Morphology
- ・Innovation Roadmap
- ・Business Model

の解説とグループワーク



グループワークの様子

募集要項

受講期間

平成28年6月16日 (木) ~ 19日 (日)
※講義テーマによっては一部、変更になる場合があります。
※スケジュールの詳細は、前頁をご参照ください。

受講対象者

企業においてイノベーション推進に責任のある方、MOT (技術経営) に関心があり今後の経営に活用したい方 (経営者、役員、経営企画・技術企画担当幹部など)

受講場所

東京工業大学田町キャンパス (東京都港区芝浦3-3-6) キャンパス・イノベーションセンター
* JR山手線・京浜東北線 田町駅下車 徒歩1分

募集人数

20名 (* 最小開催人数15名)

申込期間

平成28年4月18日 (月) ~ 5月20日 (金) (締切日必着)
※所属先の調整など上記期間内での応募が難しい場合には、問い合わせにてご相談ください。

受講料

120,000円 (+消費税) (予定)

申込方法

願書に必要事項をご記入のうえ、下記の住所までお送りください。申込用紙は専用webサイトからダウンロードできます。

専用Webサイト : <http://www.mot.titech.ac.jp/cumot/exmot/>

〒108-0023
東京都港区芝浦3-3-6キャンパスイノベーションセンター705
CUMOT事務局 エグゼクティブMOT 集中セミナー 申込担当

受講審査・受講通知

願書をお送りいただいた後、志望理由書等にもとづく書類審査をいたします (申込順)。
受講通知についてはメールまたはお電話にてご連絡いたします (後日、受講認定証を通知)。

お問い合わせ

東京工業大学大学院
イノベーションマネジメント研究科 CUMOT事務局

問い合わせ先E-mail:
cumot-info@mot.titech.ac.jp

WebサイトURL:
<http://www.mot.titech.ac.jp/cumot/exmot/>

※受講についてお問合せがある場合は、メール等にて個別相談にも応じます。

実施体制

主催 : 東京工業大学社会人社会人アカデミー

事業主体 : 環境・社会理工学院 (技術経営専門職学位課程) ※平成28年度4月より大学の教育改革により組織変更を予定しています

修了認定 : 修了者には社会人アカデミー長名の「修了証書」を交付いたします。評価については、出席状況を含め、コースごとに行います。